

# 第2次長野県教育振興基本計画原案(案) 概要

教育委員会事務局教育総務課

## 第1編 計画策定の基本的な考え方

### 第1 策定の趣旨

教育を取り巻く環境変化や新たな課題が明らかになる中で、改めて本県の教育政策の方向性を示すため第2次計画を策定

### 第2 計画の性格

- ・教育基本法第17条第2項に基づく、長野県の教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- ・長野県総合5か年計画に対応する教育分野の個別計画

### 第3 計画の期間

平成25年度～29年度の5か年

## 第2編 長野県の教育をめぐる情勢

### 第1 時代の潮流と教育の課題

#### 1 到来した人口減少社会

⇒児童生徒の減少による学校規模の縮小  
⇒地域コミュニティの支え合う力が低下

#### 2 価値観の変化

⇒人や自然と共生するライフスタイルが  
実感できる文化的環境づくり

#### 3 グローバル化・情報化の進展

⇒国際社会で必要となる資質能力の育成  
⇒ICTを活用した新たな学びの創造

#### 4 自然と人のかかわりの再認識

⇒自然災害等の危険から自ら命を守り抜く  
力と環境保全に努める心の育成

#### 5 貧困・格差の拡大

⇒経済的制約等にかかわらず誰もが必要  
な教育機会を得られる環境整備

#### 6 変革が求められる社会システム

⇒地域社会の様々な主体と行政による共創・  
協働  
⇒県民一人ひとりの自発的な学びと社会への  
貢献

### 第2 長野県教育のポテンシャル (潜在力・可能性)

教育振興の資源として活用できる特色、  
優れた点

#### 1 教育を大切にする風土と県民性

#### 2 活発な体験学習

#### 3 伝統を受け継ぐ地域

## 第3編 長期的な教育振興の方向性

### 第1 基本理念

「一人ひとりの学びが生きる  
教育立県「信州」の創造」

概ね20年後

### 第2 私たちがめざす 「未来の信州教育」の姿

#### 1 人間力を養う教育

- ・個性や能力を最大限に伸ばす指導
- ・地域を担い世界に貢献できる人材が育つ
- ・将来への目的意識、規範意識や自尊感情、  
人を思いやる心が育つ
- ・郷土への愛着と誇り、豊かな人間性が育つ

#### 2 楽しく安全・安心な学び舎

- ・分かる授業、学ぶ楽しさを味わえる授業
- ・子どもたちの心の居場所が確保
- ・いじめを見逃さない体制、悩みを抱える  
子どもたちへの相談体制が確立

#### 3 自然の中でたくましく成長

- ・幼児期からの運動習慣が身に付く
- ・成長段階に応じた運動プログラムの実践
- ・正しい食の知識や食習慣が身に付く

#### 4 個性を輝かせる子どもたち

- ・障害程度、成長に応じた切れ目のない支援
- ・自立支援で卒業後も地域の中で社会参加

#### 5 常に学び自ら活かす社会

- ・大学などの高等教育機関の充実
- ・地域における学びが地域づくりに活きる

#### 6 人生を彩る感動との出会い

- ・文化芸術に親しみ感性を育成
- ・関心、適性に応じてスポーツを楽しむ

## 第4編 基本計画（今後5年間の施策）

### 第1 第4 施策の展開

| 基本目標                      | 基本施策                     | 施策の具体的方向  |
|---------------------------|--------------------------|---|
| I 知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間の育成 | 1 未来を切り拓く学力の育成           | (1)確かな学力を伸ばす教育の充実<br>【構成】(具体的方向ごとに記載)<br>◎現状と課題<br>◎成果目標・測定指標<br>◎主な施策の展開 |
|                           |                          | (2)高校教育の充実  |
|                           | 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成      | (1)キャリア教育の充実  |
|                           |                          | (2)長野県・地域を学ぶ体験学習  |
|                           |                          | (3)世界につながる力の育成  |
|                           | 3 豊かな心と健やかな身体の育成         | (4)高等教育の充実  |
|                           |                          | (1)豊かな心を育む教育  |
| II 多様な生き方を認める社会の、<br>実共現に | 4 安全・安心・信頼の学校づくり         | (2)健康づくり・体力の向上  |
|                           |                          | (3)幼児教育の充実  |
|                           | (1)地域と共にある学校づくり          |   |
|                           | (2)教員の資質能力向上             |   |
| III 教育育社会の推進に<br>共全進に     | 5 すべての子どもの学びを保障する支援      | (3)安全・安心の確保   |
|                           |                          | (4)教育環境の維持改善  |
|                           | (1)いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援 |   |
| 6 学びの成果が生きる生涯学習の振興        | 7 潤いと感動をもたらす文化・スポーツの振興   | (2)特別支援教育の充実  |
|                           |                          | (3)困難を有する子ども・若者の自立支援  |
| IV 社会の創造                  | 8 学びが循環する社会の創造           | (4)私学教育の振興  |
|                           |                          | (1)学びが循環する社会の創造   |
|                           |                          | (2)子どもの未来づくり  |
| V 文化・スポーツの振興              | 9 文化・スポーツの振興             | (1)文化芸術の振興  |
|                           |                          | (2)文化財の保護・継承・活用   |
|                           |                          | (3)スポーツの振興  |

## 第2 重点的な施策と「信州教育スタンダード」の推進

### 1 重点的な施策

- 8つの重点的な施策**
- 学力・体力の向上
  - キャリア教育の推進
  - 地域と共にある学校づくり
  - 教員の資質能力向上
  - 多様な公立学校のかたちづくり
  - いじめ・不登校対策
  - 特別支援教育の充実
  - スポーツの振興

### 2 「信州教育スタンダード」の設定及び推進

県民の皆さんに共感していただき維持・充実・実現したい信州らしい具体的な教育の姿

#### 《信州教育スタンダード》を提案

#### 【維持したい教育の伝統】

- ・信州の自然や特色を活かした体験学習
- ・県歌「信濃の国」や地域の歌を学校で歌う
- ・多くの子どもが地域の行事に参加している(全国一)
- ・活発な公民館活動(公民館数、利用者数全国一)

#### 【充実したい教育活動】

- ・小・中学校30人規模学級編制
- ・冬季アスリート発掘・育成「SWANプロジェクト」

#### 【実現したい教育目標】

- ・長野県オリジナル「運動プログラム」の普及
- ・全ての高校生(全日制)が就業体験
- ・長野県らしい特別支援教育の地域化など

## 第5編 計画を推進するための基本姿勢

### 第1 行政・財政改革の推進

### 第2 教育に関わる多様な主体の役割分担と協働、連携

### 第3 適切な評価・点検による実効性の確保

## 第3 総合5か年計画における教育分野のプロジェクト

※ 現在検討中

## 第2次教育振興基本計画原案(案) 施策の展開【概要】

| 基本<br>施策          | 施策の<br>方向                         | 成果目標   | 目標の達成度を<br>測定する指標   |   | 主な施策の展開  |  |
|-------------------|-----------------------------------|--|---|---|--|--|
|                   |                                   |  | 現状値<br>(最新値)  | 目標値<br>(H29年度)  |  |  |
| 1<br>未来を切り拓く学力の育成 | (1)<br>確かな学力を伸ばす教育の充実(主として義務教育段階) | <p>○児童生徒が基礎的・基本的な知識・技能、知識・技能を活用する力、課題探究力や人間関係形成力等の基礎的・汎用的能力(*)を身に付けられるようにする。</p> <p>○学ぶ意欲や目的意識をもった子どもを育てる。</p> <p>*基礎的・汎用的能力:①人間関係形成・社会形成能力 ②自己理解・自己管理能力 ③課題対応能力 ④キャリアプランニング能力</p> | <p>「授業がよく分かる」と答える児童生徒(小6、中3)の割合</p> <p>全国学力・学習状況調査で基礎的・基本的な内容を5割以上理解している児童生徒(小6、中3)の割合</p> <p>全国学力・学習状況調査で基礎的・基本的な内容の定着が十分でない児童生徒(小6、中3)の割合</p> <p>全国学力・学習状況調査で「学習したことを実生活の場面に活用する力」が全国平均より高い児童生徒(小6、中3)の割合</p> | <p>小・中学生<br/>73.7%</p> <p>小学生<br/>88.4%</p> <p>中学校<br/>69.2%</p> <p>小学校<br/>5.4%</p> <p>中学校<br/>10.4%</p> <p>小学生<br/>58.0%</p> <p>中学生<br/>53.8%</p> | <p>小・中学生<br/>76.0%</p> <p>小学校<br/>91.0%</p> <p>中学校<br/>73.0%</p> <p>小学校<br/>4.0%以下</p> <p>中学校<br/>8.0%以下</p> <p>小学校<br/>60.0%</p> <p>中学校<br/>56.0%</p> | <p>○学習習慣の確立と基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校30人規模学級編制などによる学習・生活習慣の定着、基礎学力向上</li> </ul> <p>○知識・技能活用力・課題探究力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の学習集団を生かした指導改善</li> <li>・児童生徒同士の学び合い(グループ学習、討議形式の授業等)の充実</li> </ul> <p>○継続的な学力向上の検証改善サイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習状況調査等を活用した指導改善</li> </ul> <p>○「伸びる力」を一層伸ばす指導内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度に応じた指導、補充的学習、発展的学習等</li> </ul> <p>○小中、中高の連続性ある指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中、中高連携に関する研修会等</li> </ul> <p>○学習成果の適切な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校入試問題の改善</li> </ul> <p>○ICTの活用等による確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した一斉学習、個別学習、協働学習等の研究・実践</li> </ul> |
|                   | (2)<br>高校教育の充実                    | <p>○基礎的な学力の習得に加え、生徒が基礎的・汎用的能力を身に付けられるようにする。</p> <p>○生徒のニーズに則した教育課程の弾力化や内容の工夫により、学ぶ意欲や目的意識をもった生徒を育てる。</p> <p>○平成30年以降に実施予定の第2期高校再編計画を策定する。</p>                                      | <p>「学校の授業が理解できている」と答える生徒(高2)の割合</p> <p>県の学力実態調査(高2)における基礎学力定着度(正答率)</p> <p>専門学習に関わる競技会や大会に出場(県代表)した個人・団体数(専門高校)</p> <p>第2期高校再編計画の策定</p>   | <p>検討中</p> <p>国 63.4%</p> <p>数 58.9%</p> <p>英 58.0%</p> <p>検討中</p> <p>—</p>   | <p>国 65.0%</p> <p>数 60.0%</p> <p>英 60.0%</p> <p>策定</p>   | <p>○魅力ある高校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代と生徒のニーズに見合った教育課程の弾力化の推進</li> </ul> <p>○高校教育の質保証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期再編計画の着実な推進、第2期計画の策定</li> <li>・学力実態、意識調査の実施、授業における観点別評価推進</li> <li>・教育課程、指導方法上の中学・高校の接続を考慮した教員研修</li> <li>・学習合宿、進学対策集中講座の開催</li> </ul>   |

| 基本<br>施策               | 施策の<br>方向  | 成果目標  | 目標の達成度を<br>測定する指標                                  |                              | 主な施策の展開  |  |   |  |
|------------------------|--|---|--|------------------------------|--|--|---|--|
|                        |  |   | 現状値<br>(最新値)                                       | 目標値<br>(H29年度)               |  |  |   |  |
| 2<br>信州に根ざし世界に通じる人材の育成 | (1)<br>キャリア教育の充実                                       | ○社会的・職業的に自立した人間の育成のために、基礎的・汎用的能力を育てる。<br>○自己の特性や関心に応じた進路目標を持ち、社会情勢を適切に判断し、進路を選択できる能力を育てる。<br>○社会の一員として、地域の中での課題を見つけ、よりよい社会づくりに参加・貢献できる能力を身に付けた人材を育てる。 | 「将来の夢や目標をもっている」と答える児童生徒(小6・中3)の割合                  | 小・中学校<br>80.2%               | 小・中学校<br>83.0%   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校における系統的・体系的なキャリア教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例集・手引書作成、高校普通科における職業観・勤労観育成</li> </ul> </li> <li>○学校を支援するプラットフォーム構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「長野県キャリア教育支援センター」による産学官連携の支援</li> <li>・小中学校の取組を支援する市町村キャリア教育プラットフォームの構築支援</li> </ul> </li> <li>○実社会とつながる体験機会、発表の場の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の職場体験、就業体験活動の充実</li> <li>・児童生徒のものづくり体験、農業体験活動支援</li> </ul> </li> <li>○福祉教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉課題、生活課題に関する参加体験型プログラム、教材作成</li> </ul> </li> </ul> |   |  |
|                        | (2)<br>長野県・地域を学ぶ体験学習                                   | ○子どもたちが豊かな自然や地域の文化を体験する活動に参加できるようにする。<br>○子どもたちが郷土に誇り・愛着をもてるようにする。  | 「居住地域の行事に参加している」と答える児童生徒(小6、中3)の割合                 | 小学校<br>86.8%<br>中学校<br>56.6% | 小学校<br>90.0%<br>中学校<br>60.0%   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふるさと教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や文化等地域資源に関する活用事例、教材、データの教員への提供</li> <li>・県内の歴史や文化、地域課題等を学ぶ拠点づくりと情報提供</li> </ul> </li> <li>○自然体験学習、環境教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における環境教育・自然体験充実、「こどもエコクラブ」、「みどりの少年団」等の活動</li> </ul> </li> </ul> |  |
|                        |  |   | 英語コミュニケーション能力水準<br>・英検3級レベル(中学生)<br>・英検準2級レベル(高校生) | 中3<br>19.8%<br>高3<br>30.0%   | 中3<br>40.0%<br>高3<br>40.0%   |  |   | ○外国語によるコミュニケーション力の充実・向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の連続性を意識した教員研修・指導改善</li> <li>・生徒の海外留学、交流活動促進</li> </ul> |
|                        |  |   |  | 「科学の甲子園」長野県予選参加生徒数           | 54人  |  |   |  |
| (3)<br>世界につながる力の育成     | ○外国語によるコミュニケーション能力の向上と卓越した学力の伸長により、日本や世界に貢献できる人材を育成する。 |   |  |                              | ○探究的な学科等の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な学習をする学科の設置検討</li> </ul>  |  |   |  |
| (4)<br>高等教育の充実         | ○大学等高等教育機関において専門的な知識を身に付け、地域や世界に貢献できる人材を育成する。          | 県立4年制大学数  | 1  | 2                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふるさと教育の推進【再掲】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や文化等地域資源に関する活用事例、教材、データの教員への提供</li> <li>・県内の歴史や文化、地域課題等を学ぶ拠点づくりと情報提供</li> </ul> </li> <li>○大学教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな県立4年制大学の設置</li> </ul> </li> <li>○職業教育、職業訓練の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立大学校や各種学校における産業社会の動向に対応した専門性を持つ人材の育成</li> <li>・工科短大南信キャンパスの検討</li> </ul> </li> <li>○大学と学校教育、地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導、キャリア教育等における高校と大学との連携</li> <li>・新たな県立4年制大学における高大連携の取組</li> </ul> </li> </ul> |  |   |  |

| 基本<br>施策                                | 施策の<br>方向              | 成果目標  | 目標の達成度を<br>測定する指標  |                                | 主な施策の展開                      |  |
|---|------------------------|---|--|--------------------------------|------------------------------|--|
|   |                        |   | 現状値<br>(最新値)   | 目標値<br>(H29年度)                 |                              |  |
| 3<br>豊かな心と健やかな身体<br>の育成                 | (1)<br>豊かな心<br>を育む教育   | ○子ども、学校、保護者などへ「共育」クローバープランにある4つの行動目標の浸透を図る。<br>○子どもたちが自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができ、あらゆる人権課題を解決する意欲と実践力を身に付けるようにする。 | 「近所の人にあいさつをしている」と答える児童生徒の割合  | 小・中学校<br>92.3%                 | 小・中学校<br>95.0%               | ○共育クローバープランの推進<br>・教育クローバープラン<br>(本を読む、汗を流す、あいさつ・声がけをする、スイッチを切る)の活動推進<br>○社会性や規範意識の育成<br>・社会奉仕や自然体験等の体験活動を生かした道徳教育<br>○学校人権教育の推進<br>・指定校での研究や教員研修          |
|   |                        |   | 「自分にはよいところがあると思う」と答える児童生徒の割合   | 小・中学校<br>74.8%                 | 小・中学校<br>76.8%               |  |
|   |                        |   | 「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」と答える児童生徒の割合   | 小・中学校<br>95.3%                 | 小・中学校<br>97.3%               |  |
|   |                        |   | 「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答える児童生徒の割合  | 小・中学校<br>95.1%                 | 小・中学校<br>97.1%               |  |
|   | (2)<br>健康づくり・体力<br>の向上 | ○運動やスポーツに取り組む子どもが増加して、体力を向上できるようにする。<br>○学校における食育が一層推進され、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるようにする。                  | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査<br>体力合計点・全国順位  | 49.1点<br><br>31位               | 51点台<br><br>10位台             | ○長野県版運動プログラムの推進<br>・幼児期から中学生期までの成長に応じ作成したプログラムの実践<br>○幼児期からの運動習慣形成<br>・幼稚園、保育所等での運動遊び支援<br>○健康保持増進、食育推進<br>・幼稚園、保育所、学校における食育の計画的推進<br>・未成年者の喫煙・飲酒防止出前講座の実施 |
|   |                        |   | 毎日朝食を食べる児童生徒の割合  | 小6<br>91.2%<br>中3<br>85.1%     | 小6<br>93.0%<br>中3<br>87.0%   |  |
|   |                        |   | 幼児と児童の交流会を実施する小学校の割合   | 93.9%                          | 100%                         |  |
|   | (3)<br>幼児教育<br>の充実     | ○幼稚園・保育所と小学校の連携による、子どもたちの円滑な小学校への接続を確保する。<br>○人への信頼感、思いやりを持ち自ら人とかかわり、集団で元気に遊ぶ子どもを育てます。                          | 自然の中での園外保育を年5回以上実施している幼稚園割合  | 公立<br>50.0%                    | 公立<br>85.0%                  | ○幼稚園、保育所における教育(保育)の充実<br>・幼稚園教員、保育士の専門性向上<br>・運動遊び、自然を活用した体験活動の推進<br>○幼・保・小の連携強化<br>・幼保、小学校間のこども、教員の交流、合同研修会<br>○新たな子ども・子育て支援策への取組<br>・こども、子育ての新制度の円滑実施    |
|   |                        |   | 「子どもは喜んで学校に行っている」と答える保護者の割合(学校満足度)   | 小・中学校<br>91.0%                 | 93.0%                        |  |
|   | 4<br>安全・安心             | (1)<br>地域と共<br>にある学<br>校づくり   | ○学校と家庭・地域とのコミュニケーションが積極的に図られ、保護者や地域からの信頼が向上する。<br>○学校・家庭・地域による連携の仕組みによる地域とともにある学校づくりが行われている。 | 「学校へ行くのが楽しい」と答える児童生徒の割合(学校満足度) | 小学校<br>90.4%<br>中学校<br>85.7% | 小学校<br>92.0%<br>中学校<br>90.0%   |
| 保護者・地域による学校支援や学校運営参画の仕組みができてきている公立小・中学校 |                        |   |  | 32.0%                          | 100%                         |  |
| 学校関係者評価の結果を公表している学校割合                   |                        |   |  | 小学校<br>85.3%<br>中学校<br>87.2%   | 小学校<br>100%<br>中学校<br>100%   |  |
| 「子どもは喜んで学校に行っている」と答える保護者の割合(学校満足度)      |                        |   |  | 小・中学校<br>91.0%                 | 93.0%                        |  |

| 基本施策<br>・<br>信頼の学校づくり | 施策の方向            | 成果目標  | 目標の達成度を測定する指標                   |                | 主な施策の展開 |  |
|-----------------------|------------------|---|---------------------------------|----------------|---------|--|
|                       |                  |   | 現状値<br>(最新値)                    | 目標値<br>(H29年度) |         |  |
|                       | (2)<br>教員の資質能力向上 | ○教員としての基本的な能力(授業力、生徒指導力、学級経営力等)と、様々に変化する教育課題を解決する力を身に付けられるようにする。<br>○教員が、性別に関わりなく能力を十分発揮できる環境を整備する。 | 総合教育センター研修が指導改善につながった教員割合(校長評価) | 96.2%          | 97.0%   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教員の指導力、専門性、社会性向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じた研修体系</li> <li>・女性管理職の積極的な登用</li> <li>・理数教育や外国語教育の中核教員養成</li> </ul> </li> <li>○優秀な教員の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員養成大学との連携による人材確保、人物重視の教員採用選考</li> </ul> </li> <li>○校内研修等効果的な研修実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事の学校訪問、外部講師派遣</li> </ul> </li> <li>○働きやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議、調査等の見直し、部活動の適正化、ICT利用による効率化</li> </ul> </li> </ul>   |
|                       |                  |   | 公立小中学校の女性校長・教頭の割合               | 12.7%          | 15.0%   |  |
|                       |                  |   | 公立高等学校の女性校長・教頭の割合               | 6.2%           | 7.0%    |  |
|                       | (3)<br>安全・安心の確保  | ○校舎の耐震化等により、安全で機能的な学校となるようにする。<br>○子どもたちが、安心して登校し、学校生活を送ることができるようにする。                               | 県立高校の耐震化率                       | 81.5%          | 100%    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校施設設備の防災機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立学校の耐震改修や大規模改修・改築</li> </ul> </li> <li>○防災教育等学校安全の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の指針「災害安全教育の手引き」の普及</li> </ul> </li> <li>○いじめを許さない学校づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談体制充実による早期発見・早期対応・早期解消</li> <li>・情報モラル教育等の推進</li> <li>・地域、NPO、県民、行政が一体となったいじめ対策の体制づくり</li> </ul> </li> </ul>   |
|                       |                  |   |                                 |                |         |  |
|                       | (4)<br>教育環境の維持改善 | ○適正な教員配置や施設設備の整備等により、教育の質を保証し魅力ある学校となるようにする。<br>○平成30年以降に実施予定の第2期高校再編計画を策定する。                       | タブレットPCを活用している特別支援学校(県立)        | 7校             | 検討中     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校施設設備の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校再編に伴う施設整備、老朽校舎改築、特別支援学校不足教室解消</li> </ul> </li> <li>○高校の規模と配置の適正化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期高校再編計画の推進、第2期計画の策定</li> </ul> </li> <li>○教員配置の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・30人規模学級編制の維持、魅力ある高校づくりのための教員配置</li> </ul> </li> <li>○人口減少期の小・中学校のあり方の検討と学校づくりの支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村と共に検討、新たな学校づくりを支援</li> </ul> </li> <li>○県立学校におけるICT環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業改善、情報活用能力育成のための環境整備</li> </ul> </li> <li>○教育費負担軽減に向けた経済的支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校徴収金の適正化、定時制・通信制生徒の経済負担軽減</li> </ul> </li> </ul> |

| 基本<br>施策                 | 施策の<br>方向                                       | 成果目標   | 目標の達成度を<br>測定する指標                  |                | 主な施策の展開   |  |
|--------------------------|---|--|------------------------------------|----------------|---|--|
|                          |   |  | 現状値<br>(最新値)                       | 目標値<br>(H29年度) |   |  |
| 5<br>すべての子どもの学びを保障する支援   | (1)<br>いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援                    | ○学校、家庭、地域、関係機関が連携した相談体制が整備され、不登校児童生徒の状況が改善されるようにする。<br>○子どもたちが、安心して登校し、学校生活を送ることができるようにする。 | 小・中学校における不登校児童生徒在籍率                | 1.14%          | 1.08%以下   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校児童生徒の地域支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育事務所の支援チームによる地域支援体制の充実</li> </ul> </li> <li>○不登校の未然防止と改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の推進による社会力の育成</li> <li>・自然体験活動を通じた不登校児童生徒支援</li> </ul> </li> <li>○相談支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対応教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等によるチーム支援</li> <li>・民間団体の自立支援メニューの活用</li> </ul> </li> <li>○いじめを許さない学校づくり【再掲】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談体制充実による早期発見・早期解消</li> <li>・情報モラル教育等の推進</li> <li>・地域、NPO、県民、行政が一体となった体制づくり</li> </ul> </li> </ul>   |
|                          |   | スクールソーシャルワーカーを介して連携した学校と地域の福祉等関係機関が連携したケース数  | 276件                               | 400件           |   |  |
|                          | (2)<br>特別支援教育の充実                                | ○全ての子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援が行える体制づくりを図る。   | 特別支援学校教員のうち特別支援学校教諭免許保有率           | 64.4%          | 90.0%   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○小・中・高校における特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常学級における全ての児童生徒にわかる授業の実践</li> <li>・障害に応じて連続的で多様な教育対応ができる体制のモデル研究</li> </ul> </li> <li>○障害の重度、重複化に伴う特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動担当教員や看護師配置の充実、教員の専門性向上</li> </ul> </li> <li>○児童生徒数の増加に対応する環境整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校教員配置の充実、施設整備の計画的整備</li> </ul> </li> <li>○特別支援教育の地域化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校と小・中学校の交流及び共同学習の推進</li> <li>・小・中・高等学校に置いた特別支援学校分教室による専門性のある教育実践</li> </ul> </li> <li>○発達障害児(者)への支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての発達障害児(者)を支援する連携協力体制の推進</li> <li>・発達支援を専門的に行う学校の誘致</li> </ul> </li> </ul> |
|                          |   |  | 特別支援学校高等部卒業生徒のうち、一般企業での実習を行った生徒の割合 | 34.5%          | 40.0%   |  |
|                          |   | 一般企業で実習を行った特別支援学校高等部生徒のうち一般就労した生徒数の割合  | 62.8%                              | 65.0%          |   |  |
|                          |   | 小学校における個別の教育支援計画作成率  | 65.0%                              | 80.0%          |   |  |
| (3)<br>困難を有する子ども・若者の自立支援 | ○支援が必要な子ども・若者に対し、相談から自立に至るまで切れ目なく支援できる体制づくりを図る。 | 検討中  |                                    |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ニート、ひきこもり等の子ども・若者への総合的支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における支援ネットワーク形成</li> <li>・職業意識形成や就職先紹介等による就業促進</li> </ul> </li> <li>○民間支援団体との連携・支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を持つNPO等との連携による訪問相談等による本人・家族への支援</li> </ul> </li> <li>○外国籍児童生徒への教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導を行う教員等の配置</li> <li>・県民・企業・行政の協働による母国語教室支援</li> </ul> </li> </ul> |  |
| (4)<br>私学教育の振興           | ○私学教育の振興を通じて、県民への多様な教育機会を提供する。                  | 私立高等学校の定員に対する生徒の充足率  | 88.9%                              | 90.0%          |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○私立高等学校等の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人が設置する学校の運営経費補助</li> </ul> </li> <li>○保護者負担の軽減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高校生への就学支援や授業料等軽減</li> </ul> </li> </ul>   |

| 基本<br>施策                      | 施策の<br>方向               | 成果目標   | 目標の達成度を<br>測定する指標      |                           | 主な施策の展開                   |  |
|-------------------------------|-------------------------|--|------------------------|---------------------------|---------------------------|--|
|                               |                         |  | 現状値<br>(最新値)           | 目標値<br>(H29年度)            |                           |  |
| 6<br>学びの成果が<br>生きる生涯学習の<br>振興 | (1)<br>学びが循環する<br>社会の創造 | ○県民が生涯にわたって学び続けたり地域の課題解決を主体的に担うことができる力を身に付けられるようにする。   | 公民館における地域課題に関する講座受講者数  | 197,362人                  | 210,000人                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習の基盤づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進センターでの指導者養成</li> <li>・県立長野図書館のサービス向上</li> <li>・様々な年代に向けた多様な学習機会の提供</li> <li>・現代的、社会的課題に対応した学習機会の提供</li> </ul> </li> <li>○地域コミュニティの再生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題に関する学習や地域活動を促進する公民館を支援</li> </ul> </li> <li>○社会人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人権教育リーダーの育成</li> </ul> </li> <li>○学校・地域社会と高等教育機関の連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体、NPO、企業、大学等のネットワーク化</li> </ul> </li> </ul> |
|                               | (2)<br>子どもの<br>未来づくり    | ○学校支援ボランティアが自らの経験や知識を基に児童生徒に豊かな学習や体験の機会を提供できるようにする。<br>○より多くの小学校区において、放課後児童クラブ・放課後子ども教室が実施され、多くの児童に放課後の居場所を確保する。 | 小・中学校の学校支援ボランティア登録者数   | 6,590人                    | 6,800人                    |  |
|                               |                         |  | 放課後児童クラブ・放課後子ども教室登録児童数 | 27,307人                   | 30,000人                   |  |
| 7<br>潤いと感動を<br>もたら            | (1)<br>文化芸術の<br>振興      | ○優れた文化芸術の鑑賞機会や創作活動の場を広く提供し、文化芸術に親しむ環境を整える。   | 県立文化施設の利用者数            | 6,801,636人<br>(19~23年度累計) | 6,801,000人<br>(25~29年度累計) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○創作発表活動・鑑賞機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた文化芸術の鑑賞機会や創作・発表の場の提供</li> </ul> </li> <li>○文化交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な文化交流の推進</li> </ul> </li> <li>○文化芸術を担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手芸術家等の活動支援</li> <li>・学校における文化芸術鑑賞、伝統文化に関する活動</li> <li>・芸術文化活動に関する高校生の発表・交流機会提供</li> </ul> </li> </ul>   |
|                               | (2)<br>文化財の<br>保護・継承・活用 | ○所有者、行政、県民が協調して適切な文化財保護の推進を図る。<br>○文化財の新たな価値を引き出す。   | 国・県指定等文化財の件数           | 1,175件                    | 1,250件                    |  |
|                               |                         |  | 県立歴史館入館者数              | 94,234人                   | 100,000人                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財の保護、継承 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の現状把握、保存、保護活動への支援</li> <li>・埋蔵文化財の保護、発掘調査</li> </ul> </li> <li>○文化財の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財を生かした地域づくりや観光振興への支援</li> <li>・県立歴史館を中心とする歴史・文化拠点づくり</li> </ul> </li> </ul>  |

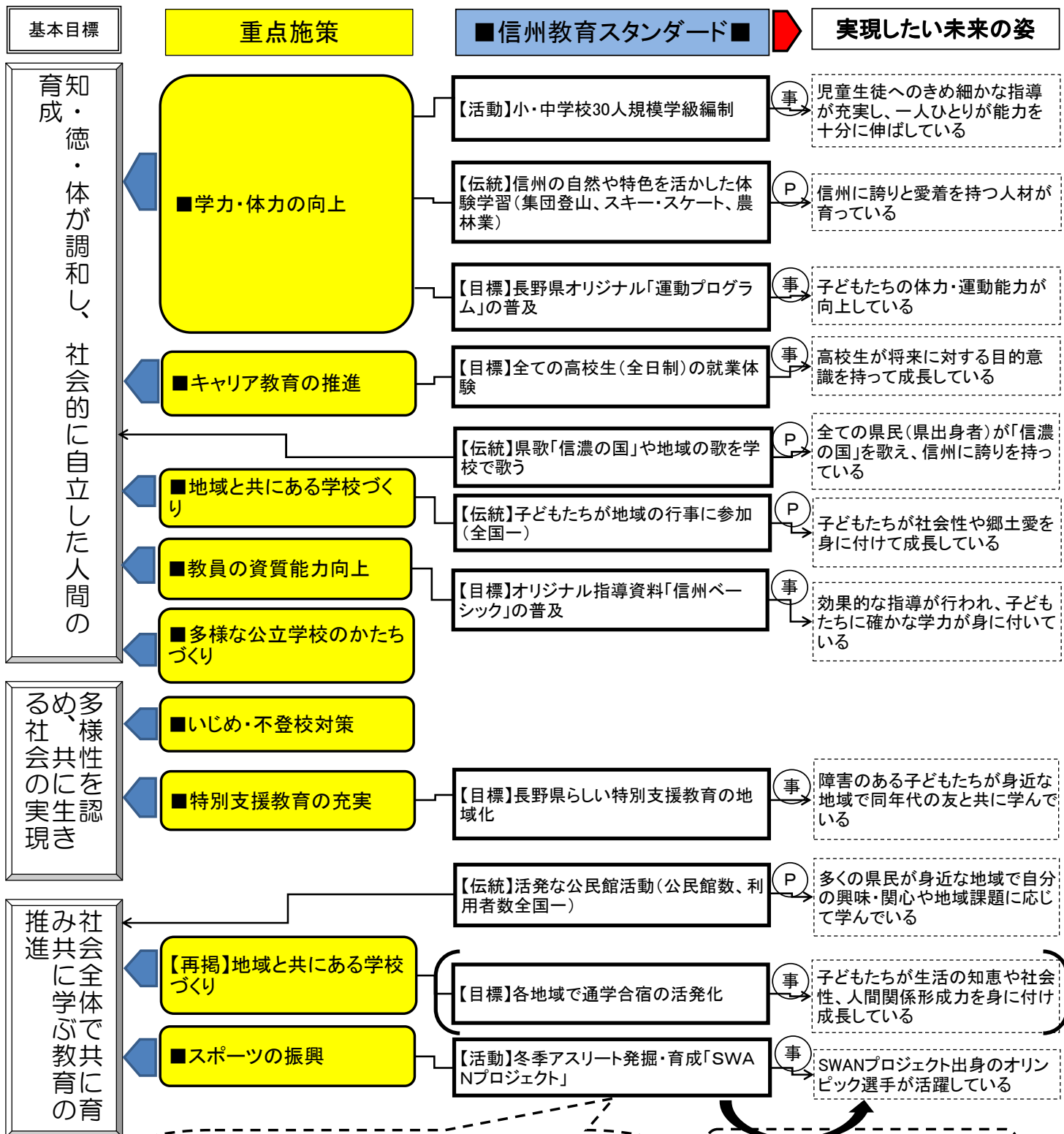
| 基本施策        | 施策の方向          | 成果目標   | 目標の達成度を測定する指標 |                | 主な施策の展開 |  |
|-------------|----------------|--|---------------|----------------|---------|--|
|             |                |  | 現状値<br>(最新値)  | 目標値<br>(H29年度) |         |  |
| す文化・スポーツの振興 | (3)<br>スポーツの振興 | <p>○県民誰もが、年齢、体力、技術、適性、興味・目的に応じて、安全にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会を実現する。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックなど、国際舞台や国内大会で活躍する本県選手の増加を図る。</p> | 運動・スポーツ実施率    | 43.0%          | 65.0%   | <p>○ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽にできるスポーツの普及</li> <li>・新しい登山者層の誘致と安全指導</li> <li>・障害者のスポーツ活動の継続・定着</li> </ul> <p>○スポーツ環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ等地域のスポーツ団体相互の連携促進</li> <li>・県立スポーツ施設整備と利用促進</li> </ul> <p>○競技力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際大会や全国規模の大会で活躍できる選手の育成・強化、マルチサポート推進</li> <li>・SWANプロジェクトの推進による冬季オリンピックで活躍できるジュニア選手の発掘・育成</li> </ul> <p>○スポーツ界における好循環の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内を拠点に活躍した選手が引退後指導者となるなどの好循環の確立検討</li> </ul> <p>○スポーツの多面的な役割活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型プロスポーツチームと連携した県の元気創出につながる取組</li> <li>・スポーツと観光、スポーツと健康づくりの連携推進</li> </ul> |
|             |                |  | 国民体育大会総合順位    | 17位            | 15位以内   |  |



◎参考資料【基本目標、重点的な施策と「信州教育スタンダード」の関係】

3つの基本目標の実現をめざし施策を重点化して進めると同時に、重点化した取組により、県民の皆さんに共感していただける長野県らしい具体的な教育の姿「信州教育スタンダード」をかたちづくっていきます。

信州らしい教育の特長や目標とする教育の具体像



【スタンダードの種類】  
 【伝統】：県民・学校等の自主的取組による優れた伝統で、施策を支える基盤となるもの  
 【活動】：施策の推進の成果として、長野県の特長となっている活動  
 【目標】：施策を推進して、新たな長野県教育の特長にしていきたい目標

（事）主として県事業で推進  
 （P）主としてPR、キャンペーンで推進

（※予算化の状況で変更あり）